



平成 28 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
 代表者の役職名 代表取締役社長 安 成 政 文
 (J A S D A Q ・ コード番号 8 7 4 7)
 問い合わせ先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之
 電 話 番 号 (0 3) 3 6 6 7 - 5 2 1 1

平成 29 年 3 月期第 1 四半期累計期間の連結業績見直し
 及び貸倒引当金戻入額の計上に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 1 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

また、同期間において貸倒引当金戻入額（営業外収益）を計上することになりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 1 四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益又は 営業損失 (△)	経常利益又は 経常損失 (△)	親会社株主に帰属する四半期 純利益又は純損失 (△)
当第 1 四半期連結累計期間速報値 (平成 29 年 3 月期第 1 四半期累計期間) (A)	863	△191	△138	△118
前 年 同 期 実 績 (平成 28 年 3 月期第 1 四半期累計期間) (B)	1,163	20	33	523
増 減 額 (A - B)	△299	△211	△171	△641
増 減 率 (%)	△25.8	—	—	—
(参考) 平成 28 年 3 月期実績	4,456	83	114	447

2. 差異が生じた理由

連結業績見込み

当第 1 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）においては、「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」に即した金融政策の継続や、公共投資の進捗などを支えに、穏やかな回復基調ではじまりましたが、6 月の英国の EU 離脱による急速に進んだ円高など不透明な要素が高まりつつあります。一方、世界経済は、堅調な個人消費による米国経済の回復が継続しているものの、英国の EU 離脱に伴う先行き不透明感や中国経済の減速により、当面力強さに欠ける状況が続く見込みのもとで、商品先物取引の総売買高は 502 千枚（前年同期比 26.5% 増）及び金融商品取引等の総売買高は 646 千枚（前年同期比 24.4% 減）となり、受取手数料は 920 百万円（前年同期比 17.7% 減）、売買損益は 57 百万円の損失（前年同期は 38 百万円の利益）となり、以上の結果、営業収益 863 百万円（前年同期比 25.8% 減）、経常損失 138 百万円（前年同期は 33 百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失 118 百万円（前年同期は 523 百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となる見込みであります。

3. 貸倒引当金戻入額（営業外収益）の計上

当社は、商品先物取引業等において発生した債権については、貸倒懸念債権等特定の債権として個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を貸倒引当金に計上しておりますが、回収不能見込額を見積り直した結果、貸倒引当金戻入額 41 百万円を平成 29 年 3 月期第 1 四半期累計期間の連結決算においてそれぞれ営業外収益として計上しました。

以 上